



富永 悦子 議員



動画配信中

婚活支援策の推進を！



足利市移住・定住相談センターは結婚活動支援にも活用することであるが、今後の取り組みを聞きたい。

総合政策部長

本市では市内の婚活イベント主催団体等と連携し、結婚活動支援に取り組んでいる。足利市移住・定住相談センターにおいても、本市の婚活支援情報を集約・発信していくとともに、協力団体等との連携・協力体制をさらに深めていく。

◆入居資格の検討



単身者の増加など社会情勢の変化に対応して市営住宅の居住促進を図り、増加傾向にある空き室の解消を図るべきと考えるが、入居条件の再検討について考えを聞きたい。

都市建設部長

本市では、単身者が市営住宅に入居する場合、60歳以上であることなど一定の基準を満たす必要がある。近年、単身者からの入居希望が多く寄せられる一方、提供できる住戸は飽和状態であることから、入居条件の緩和に向けた検討を現在進めている。



荻原 久雄 議員



動画配信中

高齢者が活躍できる社会づくりを問う！



労働力不足が社会問題となつている中、高齢者が活躍できる社会づくりが重要な課題になると考えるがどうか。

市長

向上傾向にある高齢者の体力や平均寿命の延伸を踏まえると、高齢者施策は転換期に差しかかっていると考えられる。仕事やボランティア等の市民参加活動を通して、生きがいを感じながら自己実現できる社会の仕組みづくりを多角的に研究していく。

◆高齢ドライバー対策



本市におけるスマートシティ実現の取り組みとして、先端技術を駆使し、高齢者が安全に運転できる社会づくりが必要と考えるがどうか。

生活環境部長

高齢者による事故を減らすためには、免許証の自主返納や交通安全意識の向上のほか、運転制御等の技術的対策も重要と考える。国では安全機能がついた車のみ運転できる高齢者限定の新たな免許制度の創設も検討されており、同制度の創設や技術の発展を十分に見据えながら、警察や関係機関と連携し、高齢ドライバー対策に取り組んでいく。



斎藤 昌之 議員



動画配信中

人口減少社会に向けた政策を問う！



公共施設跡地等の未利用の市有地については、積極的な処分を検討すべきと考えるがどうか。

総合政策部長

未利用地の処分に当たっては、民間需要を的確に捉え、スピード感を持つことが重要と考えており、旧福居保育所では建物の解体を民間の負担とする条件を加え、迅速に用地の処分を行った。今後もし処分方法に工夫を凝らしながら、積極的に取り組んでいく。

◆土地利用計画



市街化調整区域における小学校周辺への許可基準が見直され、1年が経過した。地域の実情を考慮した上で、指定場所や範囲を見直す必要があると考えるがどうか。

副市長

かつて多くの集落は小学校を中心に広がっており、そのコミュニティーをもう一度呼び戻すことを目的に、市街化調整区域における許可基準の緩和を行った。その範囲や条件については、もう少し弾力的な運用もできると考えられるため、地域の特性を生かしながら、必要に応じて見直しを行っていききたい。